



TITLE:

静脩 Vol. 4 No. 2 (1967.7) [全文]

AUTHOR(S):

CITATION:

静脩 Vol. 4 No. 2 (1967.7) [全文]. 静脩 1967, 4(2)

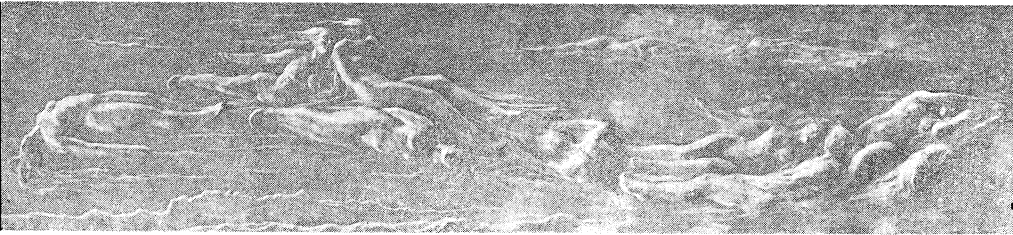
ISSUE DATE:

1967-07

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/65919>

RIGHT:



静脩

1967年 7月

Vol. 4, No. 2

The Kyoto University Library Bulletin

精神的健康と読書

宮田 尚之

近年各方面で精神的健康と言うことが、やかましく言われている。しかしこれが何を意味するかということは、なかなかむつかしい問題である。昔から普通、精神は知情意と3大別される。この3者が円満に統合的によく発達した人を、一応、精神的健康者といえると思う。これら3者が偏って発達している人は性格異常者である。これら3者が、統合されず分裂している人は、精神分裂病という精神病である。そしてこの精神病の最も大きいひとつの特徴は、この病者が、自分は病人であることをほとんど自覚しないということである。

さて、この知情意のうちでは、「知」が最も基礎的なものであって、昔から「頭がよい」といわれるのは、この知の発達した人のことである。本学の学生諸君はもちろん知的に発達している人々に相違ない。しかして「知」とは教えられたり、学んだりして得た経験的精神内容、つまり教育と学習などの総和である。学校とは簡単にいえば、教育と学習がよく行なわれるように作られた場所であり、学生とは、教育を受け、学習を行なうことを本務とする人々といえる。従って、もし学生にして、これらをしない者は、本質的には学生といえないと思うのである。

先ず教育のことであるが、近頃学生の中には、時々大学の教育がつまらないという者がいる。それは自惚に過ぎると思う。それらの人々は、「自ら天性が優秀であると信ずるために教育を受けないでもよいと思うのは誤っている。天性の優秀な者こそ、ますます教育の必要がある」とのソクラテスの名言を銘記して頂きたい。

次に学習のことである。それには色々の方法があるが、やはり読書が最も大きい部分を占めている。そしてその読書のために図書館がある。周知のように京大の図書館には、250万冊以上の図書がある。もし学生諸君が毎日1冊ずつ本を読むとしても、学生生活4年間に、 $365 \times 4 = 1,460$ 冊しか読めないのである。それを死ぬまであと50年間続けたとしても、18,250冊しか読み得ない。それは京大図書館の本の1%にも満たないので、あと99%の本は読めないことになる。つまり99%のことは知らないということになるのである。ましてそれが全日本、全世界となると全く問題にならない。すなわち不知の部分の如何にも大きいことを謙虚に自覚すべきであろう。

大学生は一般に知的に発達している人々である。そのため情や意に欠ける傾があり、一種の性格異常に近い人々が多いように推察される。しかしこの異常者の中には、未来の人類社会の進歩・発展に寄与し得る貴重な人々が多く含まれている。そしてそれらの人々は、精神病でないから、自らの異常性をよく自覚しているはずである。どうか諸君は、くれぐれも誤りのない自覚をもち、常に情意の円満な発達に留意され、必ず読書や研修を怠らず、恵まれたその知的能力を十分発揮できるよう努力して頂きたい。かくてはじめて真に優秀な精神的健康者といえると思うのである。

(教養部教授・保健診療所長)

プリンストン大学よりの新着図書リスト

本紙1965年5月号でも紹介したとおり、本館はプリストン、テキサス両大学の日本における「寄託図書館」(Depository Library)となっており、その後も両大学からの配本が続いている。ここにその第3回と第4回の配本リストを掲載して、ご利用をお待ちしている。

(参考掛)

第3回配本

- Barros, J.: The Corfu incident of 1923. 1965.
 Bonner, J. T.: Size and cycle. 1965.
 Chang, C. C. & Keisler, H. I.: Continuous model theory. 1966.
 Chapman, G. W. ed.: Essays on Shakespeare. 1965.
 Coale, A. J. & Demeny, P.: Regional model life tables and stable populations. 1966.
 Coale, A. J. & others: Aspects of the analysis of family structure. 1965.
 Hall, J. W.: Government and local power in Japan 500-1700. 1966.
 Link, A. S.: Wilson. 1965.
 Lockwood, W. ed.: The state and economic enterprise in Japan. 1965.
 L'Orange, H. P.: Art forms and civic life. 1965.
 Ludwig, R. M. ed.: Letters of Ford Madox Ford. 1965.
 Main, J. T.: The social structure of revolutionary America. 1965.
 Mathews, D. G.: Slavery and methodism. 1965.
 Milnor, J.: Lectures on the h-cobordism theorem. 1965.
 Neuwirth, L. P.: Knot groups. 1965.
 Palais, R. S.: Seminar on the Atiyahsinger index theorem. 1965.
 Patric, J. M. & Evans, R. O. ed.: Style, rhetoric and rhythm. 1966.
 Proser, M. N.: The heroic image in five Shakespearean tragedies. 1965.
 Scheinman, L.: Atomic energy policy in France under the Fourth Republic. 1965.
 Selin, I.: Detection theory. 1965.
 Sewell, J. P.: Functionalism and world politics. 1966.
 Shy, J.: Toward lexington. 1965.
 Smith, D. E.: Religion and politics in Burma. 1965.
 Sprout, H. & M.: The ecological perspective on human affairs. 1965.
 Starr, G. A.: Defoe and spiritual autobiography. 1965.
 Tennyson, G. B.: Sartor called Resartus. 1965.
 Vorys, K. v.: Political development in Pakistan. 1965.
 Whitman, M. v. N.: Government risksharing in foreign investment. 1965.
 Wright, H. E. Jr. & Frey, D. G. ed.: The quaternary of the United States. 1965.
 Zolotas, X.: Monetary equilibrium and economic development. 1965.

第4回配本

- Albinski, H. S.: Australian policies and attitudes toward China. 1965.

- Baron, H.: The crisis of the early Italian Renaissance. 1966.
 Blegen, C. W. & Rawson, M.: The palace of Nestor at Pylos in Western Messenia. V. 1, Part 1, 2. 1966.
 Bochner, S.: The role of mathematics in the rise of science. 1966.
 Colie, R. L.: Paradoxia epidemica. 1966.
 Crowley, J. B.: Japan's quest for autonomy national security and foreign policy 1930-1938. 1966.
 Feldman, G. D.: Army, industry, and labor in Germany 1914-1918. 1966.
 Giamatti, A. B.: The earthly paradise and the Renaissance epic. 1966.
 Harvey, W. B.: Law and social change in Ghana. 1966.
 Hawley, E. W.: The New Deal and the problem of monopoly. 1966.
 Howard, D. R.: The three temptations. 1966.
 Howe, J. R. Jr.: The changing political thought of John Adams. 1966.
 Koch, A.: Madison's "Advice to my country". 1966.
 Koonce, B. G.: Chaucer; and the tradition of fame. 1966.
 Lester, R. A.: Manpower planning in a free society. 1966.
 Levy, M. J. Jr.: Modernization and the structure of societies. V. 1, 2. 1966.
 Lovell, E. J. Jr. ed.: Medwin's conversations of Lord Byron. 1966.
 McLane, C. B.: Soviet strategies in South-east Asia. 1966.
 Mylonas, G. E.: Mycenae and the Mycenaean age. 1966.
 Nakamura, J. I.: Agricultural production and the economic development of Japan 1873-1922. 1966.
 Noyes, P. H.: Organization and revolution. 1966.
 Packard, G. R. (III): Protest in Tokyo: The Security Treaty crisis of 1960. 1966.
 Paxton, R. O.: Parades and politics at Vichy. 1966.
 Perkins, J. A.: The university in transition. 1966.
 Shubik, M. ed.: Essays in mathematical economics. 1967.
 Skotheim, R. A.: American intellectual histories and historians. 1966.
 Tave, S. M.: New essays by De Quincey. 1966.
 Wickwire, F. B.: British subministers and Colonial America, 1763-1783. 1966.
 Williams, G. C.: Adaptation and natural selection. 1966.

京都大学図書相互利用(内規)一覧表

昭和42年7月1日現在

この一覧表について

- この表は、京都大学の、学生・大学院学生・教官が研究のために、所属する部局以外で図書を利用するときの条件を示したものです。
- この表は、本学の附属図書館、学部、研究所、教室の各図書室を対象に調査したものです。京都市以外に所在する遠隔地の研究所、実験所等の図書室は、高槻市の化学研究所図書室の他は、除外しました。
- この表に示されていない点については、当該図書館(室)に直接おたずね下さい。
- 教官の欄の数字は、助手を対象としたものです。

表の見方

- 「特」：特にきめられていない
- 「要証明」：学生、大学院学生は学生票、教官は職員証の提示
- 新着および未製本欄の上段は新着、下段は未製本雑誌の利用条件を示す。
- 「×」：利用できない
- 「※」：備考欄をみよ

区 分 電話 番 号	貸 借										文 献 可 否 複 写 受 付	備 考									
	学 生			大 学 院			教 官			関 覧 の 可 否											
	図 書	製 本 済	新 着 お よ び 未 製 本 の 要 求	図 書	製 本 済	新 着 お よ び 未 製 本 の 要 求	図 書	製 本 済	新 着 お よ び 未 製 本 の 要 求												
													冊 数	期 間	冊 数	期 間	冊 数	期 間	冊 数	期 間	
図 書 館 (室) 名	2232	5	14日	×	×	要 証 明	10	1カ 月	10	1カ 月	×	×	6カ 月	30	10	1カ 月	×	×	要 証 明	可	文 献 複 写 は マ イ ク ロ フ ィ ル ム お よ び ゼ ロ ッ ク ス に よ り 行 な う
附 属 図 書 館	2519	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	13	1カ 月	×	×	×	×	要 証 明	可	
文 学 部	2809	×	×	×	×	×	5	1カ 月	5	1カ 月	×	×	5	1カ 月	5	1カ 月	×	×	要 証 明	否	
法 学 部	2909和 2809洋	×	×	×	×	×	3	1カ 月	3	1カ 月	×	×	10	2カ 月	10	2カ 月	×	×	要 証 明	可	
経 済 学 部	2705	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	10	2カ 月	10	2カ 月	×	×	要 証 明	可	
教 育 学 部	3698	1	7	3	×	×	3	7日	3	3日	×	×	3	7日	3	3日	×	×	要	可	
薬 学 部	4711	1	7	1	×	×	1	7	1	7	×	×	10	3カ 月	10	3カ 月	×	×	要 証 明	可	
教 養 部																					

土木工学	3767	特	2	特	2	特	2	×	×	要	特	1	2	×	×	要	可	否	交通土木と合同
衛生工学	3767	3	7	3	7	3	7	3	7	要	特	7	3	7	3	7	要	可	否
建築学	3851	5	14	×	×	×	×	×	×	要	5	1カ 月	×	×	×	要	可	否	
機械系	3888	3	14	×	×	×	×	×	×	要	3	14	×	×	×	要	可	否	
航空工学	3980	3	8	3	3	×	×	×	×	要	3	8	3	3	×	要	可	否	
電気系	4011	3	1カ 月	3	7	×	×	×	×	要	3	1カ 月	特	7	×	要	可	否	
資源冶金 金属加工	(呼) 4090	5	7	5	7	×	×	×	×	要	5	7	5	7	×	要	可	否	
工業化学	4190	3	3	3	3	3	3	3	3	要	3	3	3	3	3	要	可	否	
石油化学	(呼) 4210	3	7	1	3	※	※	※	※	要	3	7	1	3	※	要	可	否	※到着1ヵ月後 貸出す
化学工学	4253	2	14	3	1	3	1	3	1	要	2	1カ 月	3	1	3	1	要	可	否
高分子化学	4277	3	7	2	3	2	3	2	3	要	3	7	2	3	2	3	要	可	否
合成化学	4300	3	7	3	7	※	※	※	※	要	3	7	3	7	※	要	可	否	※教授回覧後貸 出す
原子核	4341	特	7	特	7	特	7	特	7	要	特	7	特	7	特	7	要	可	否
数理工学	4342	特	14	※	※	※	※	※	※	要	特	14	※	※	※	要	可	否	※研究室で回覧 後貸出す
数 学	3040	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×		可	否	所属教員主任の許可 書(図書館室に備付) を要す。部局により 異なる
物理学	3101	2	1	2	1	※	※	※	※	要	2	1	2	1	※	要	可	否	※次月号に前後貸出す
宇宙物理学	(呼) 3180	特	21	特	7	特	7	特	7	要	特	21	特	7	特	7	要	可	否
地球物理学	3190	1	7	1	7	1	7	1	7	要	1	7	1	7	1	7	要	可	否
化学	3240	3	7	3	3	3	3	3	3	1	要	3	7	3	3	1	要	可	否
動物学	3281	3	7	3	7	3	7	3	7	要	3	7	3	7	3	7	要	可	否
植物学	3321	3	7	3	7	3	7	3	7	要	3	7	3	7	3	7	要	可	否
地質学	3341	5	7	5	7	5	7	5	7	要	5	7	5	7	5	7	要	可	否

工 学 部 理 学 部

医学図書館	3415	2	7日	2	3日	※2	※3日	要	2	7日	2	3日	※2	※3日	要	3	7日	3	3日	※3	※3日	要	可	可	※新着雑誌は到着1 ヵ月後貸出す
解剖学	3433	×	×	×	×	×	×	×	3	7	3	7	×	×	要	3	7	3	7	×	×	要	可	否	※院生、学生は講師 以上の保証印を要す
生理学	3452	3	7	3	7	3	2	※	3	7	3	7	3	2	※	3	7	3	7	3	2	要証明	否	否	※院生、学生は講師 以上の保証印を要す
放射能 基礎医学	3418	2	7	2	3	※2	※3	※	2	7	2	3	※2	※3	※	3	7	3	3	※3	※3	※	否	否	※新着雑誌は到着1 ヵ月後貸出す ※貸出後図書館 を通じて貸出す
薬理学	3471	1	14	1	7	1	7	要	1	14	1	21	1	21	要	2	21	2	21	2	21	要証明	可	否	
医化学	3461	×	×	3	3	×	×	※	×	×	3	3	×	×	要	×	×	3	×	×	×	要	否	否	※指導教官の保証印 を要すコピー用は短 時間貸出す
病理学	3506	3	7	3	7	×	×	×	3	7	3	7	×	×	要	3	7	3	7	×	×	要	否	否	※本教室教室の 保証印を要す
微生物学	3515	×	×	5	7	×	×	要	×	×	5	7	×	×	要	×	×	5	7	×	×	要証明	可	否	
衛生学	3520	特	7	特	7	※特	※7	要	特	7	特	7	※特	※7	要	特	7	特	7	※特	※7	要	可	否	※新着雑誌はコピー 用のみ短時間貸出す
公衆衛生学	3535	特	7	特	7	※特	※7	要	特	7	特	7	※特	※7	要	特	7	特	7	※特	※7	要	可	否	※同上
法医学	3540	×	×	×	×	×	×	×	3	7	3	7	×	×	要	3	7	3	7	×	×	要証明	可	否	
内科学	5708	3	14	3	7	1	3	要	3	14	3	7	1	3	要	3	14	3	7	1	3	要証明	可	否	
外科学	5745	×	×	×	×	×	×	×	特	7	特	7	×	×	要	特	7	特	7	×	×	要証明	可	否	
脳神経 科学	5745	×	×	×	×	×	×	×	特	7	特	7	×	×	要	特	7	特	7	×	×	要証明	可	否	
眼科学	5768	特	7	特	7	特	7	※	特	7	特	7	特	7	要	特	7	特	7	特	7	要	否	否	※学生は講師以上の 保証印を要す
婦人科学 産科学	5778	特	7	特	7	特	7	要	特	21	特	21	特	21	要	特	21	特	21	特	21	要	可	否	
小児科学	5792	3	3	3	3	×	3	要	3	3	3	3	×	3	要	3	3	3	3	×	3	要	可	否	
皮膚病 学	5799	×	×	×	×	×	×	×	2	7	2	7	×	×	要	2	7	2	7	×	×	要証明	否	否	
泌尿器 科学	5807	×	×	×	×	×	×	×	特	14	特	14	特	14	要	特	14	特	14	特	14	要証明	否	否	
耳鼻咽喉 科学	5817	2	14	3	7	×	×	要	2	14	3	7	×	×	要	2	14	3	7	×	×	要	可	否	
整形外科 科学	5745	×	×	×	×	×	×	×	特	7	特	7	×	×	要	特	7	特	7	×	×	要証明	可	否	※事情により貸 出すことがある
精神神経 科学	5835	×	×	×	×	×	×	※	特	14	特	7	×	×	要	特	14	特	7	×	×	要	否	否	

医 学 部	口腔外科学	5845	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	※同上	
	放射線医学	5852	特	14	特	7	特	14	特	14	特	14	特	14	特	14	特	14	特	×	要証明	否	否	※教室員または学部講師以上の保証印を要す	
	麻醉科学	5859	特	7	特	7	特	7	特	7	特	7	特	7	特	7	特	7	特	7	要	否	否	※本教室教官の保証印を要す	
	皮膚病特別研究施設	5875	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	特	要証明	否	否	※事情により貸出すことがある	
農 学 部	農学部図書	4509	3	14	3	7	3	7	3	7	3	7	3	7	3	7	3	7	3	※7	要	可	否	※新着雑誌は到着1週間後貸出す。その期間16時から翌朝10時まで可	
	林学	4535	1	7	1	7	1	7	1	7	1	7	1	7	1	7	1	7	1	7	要	可	否	※16時から翌朝10時まで可	
	農芸化学	4559	2	10	2	※	2	※	2	※	2	※	2	※	2	※	2	※	2	※	要	可	否	※16時から翌朝10時まで可	
	農林経済学	4610	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	1カ月	要証明	可	否	※16時から翌朝10時まで可	
学 部	水産学	舞鶴 ⑤512	2	14	特	14	特	14	特	14	特	14	特	14	特	14	特	14	特	2	※	要証明	可	否	※新着雑誌は到着1週間後貸出す。その期間16時から翌朝10時まで可
	林産工学	(呼) 4615	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	要	可	否	※16時から翌朝10時まで可	
	農薬研究施設	4668	特	特	特	特	特	特	特	特	特	特	特	特	特	特	特	特	特	特	要証明	可	否	※16時から翌朝10時まで可	
	付属演習林	4686	5	7	特	7	特	7	特	7	特	7	特	7	特	7	特	7	特	※	要証明	可	否	※16時から翌朝10時まで可	
人文科学研究所	5008	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	※16時から翌朝10時まで可	
	経済研究所	5184	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	※16時から翌朝10時まで可	
	基礎物理学	5148	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	※16時から翌朝10時まで可	
	数理解析研究所	5228	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	※16時から翌朝10時まで可	
食糧科学研究所	(庶務) 5350	1	14	1	7	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	要	可	否	※16時から翌朝10時まで可	
	結核研究所	5059	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	※16時から翌朝10時まで可	
	ウィルス研究所	5105	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	※16時から翌朝10時まで可	
	化学研究所	高槻 ⑤0282	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	※16時から翌朝10時まで可	

議 会

全国国立大学図書館長会議開かる

本年度の館長会議は、名古屋大学を会場として、6月20日より3日間にわたって開催された。昨年までは館長会議とともに、文部省主催の研究集会が開催されていたが、本年度からは、研究集会じたいも館長会議が主催することになったことが、本年の新しい試みであった。

本年からは、新しく発足した北見工大も加わり、参加館は74館になった。それに例年の通り琉球大学も、オブザーバーとして遠路参加された。

第1日は午前中の委員会のあと、13時から開会、一般報告、各種委員会報告があった。このうち、相互協力活動委員会は近畿地区が担当してきたので、本館から報告を行なった。

第2日午前は研究集会で、本年は館長会議の組織強化について討論した。ここで出された意見をもとに、組織強化に関する特別委員会を設けることになった。午後は各地区から提案された議題を、予算関係、人事関係、奉仕関係の3つに大別し、3つの分科会を作り、分科会ごとに討論した。

第3日目は分科会の報告と、各種の表彰および全体のとりまとめが行なわれ、指定図書費、図書館維持費の増額、図書館職員の増員問題等について、それぞれ関係方面に要望することになった。

本年の館長会議でとくに印象的であったのは、図書館問題の解決について、自主的に解決していこうとする姿勢が強く打出されたことであった。従来のやり方を一変したので、会議が混乱することも予想されたが、それをよく克服しえたのも、自主的な姿勢の強化であったと思う。

資 料

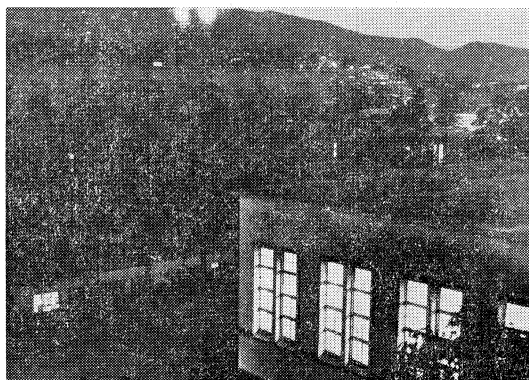
○ 教 官 文 庫

前号に引続き学生諸君の利用を待っている、最近着の教官文庫を紹介する。

- 「家族法判例集成」 太田武男編（人文科学研究所助教授）京都大学人文科学研究所）昭39刊 700P
- 「大学教育と数学」 森 毅著（教養部助教授）総合図書 昭42刊 287P
- 「環境の衛生学」 庄司 光著（工学部教授）光生館 昭42刊 369P
- 「都市交通と都市計画」 米谷栄二（工学部教授）加藤 晃共著 技術書院 昭42刊 111P

○ 学内学生団体よりの寄贈

本学には学生のサークル活動が数多くあり、スポーツ、学習、趣味などを通して、より実り多い学生生活がめざされているが、最近、それらのサークルの一つである鉄道研究会より、その研究発表誌たる「京都大学鉄道研究会雑誌」（1961～1965）が寄贈された。同研究会では、今まで雑誌は西部のボックスにおいてあったが、いつの間にか紛失したり、汚損したりするので、今後はその1部づつを図書館に製本して寄贈し、もって京都大学の続く限り全学



たそがれ時の閲覧室

の共有物として保存され、利用されることを期待して寄贈したということであった。この他、「京大俳句」「京都大学山岳部報告」京大探検部の「探検」、京都大学新聞社（学生団体）の「京都大学新聞」が寄贈されている。図書館としては、これらのサークルから継続して寄贈されなければ整理が不能であり、また、サークル誌を刊行されればどのサークルからも寄贈して頂くことを期待している。

ニ ュ ー ス

大閲覧室の冷房はじまる！

本館では大閲覧室で夏期にも快適な学習、読書の時間をすごして頂こうと、冷房設備の施工を急がせてきたが、いよいよ7月から運転を開始する準備がととのった。勿論潤沢に予算がある訳ではなく、どれほど快適度が増すかということは、一度来て見て頂いてのお楽しみというところだが、館としては少しでも快適になるものと信じている。なお、この冷房装置の取付け工事中、長期にわたり、大閲覧室利用者の方々に多くの迷惑をおかけしたことをこの紙上よりおわびしておきたい。

展 観

○ エーリッヒ・ケストナー：その生涯と作品展

去る6月5日から2週間にわたって、ドイツの作家エーリッヒ・ケストナー(Erich Kästner 1899～)の著書約200点および、生涯の各時点における彼の写真を、本館陳列室において展観に供した。この展観は、本館の主催となっていたが、京都ゲーテ研究所と、日独文化研究所の後援によっておこなわれたものである。ケストナーは「ファビアン」(1931)で知られる諷刺作家で、現代のヴォルテールと称する人もある。

○ 世界理工学図書・雑誌展、日本理工学図書展 7月の6日から8日にかけて、出版文化国際交流会と本館の主催、外務省、文部省、京都新聞社の後援で、上記の展観が開催された。世界理工学図書・雑誌展の方に参加している国は、ベルギー、ノルウェー、西ドイツ、東ドイツ、ハンガリー、インド、イタリア、オランダ、フランス、ルーマニア、ソ連、スエーデン、スイス、英国、米国、アルゼンチンと、西欧、東欧を網羅し、図書も3,500点が展示され、それに日本のもの1,000点が加えられて非常に盛況であった。

あ と が き

長い日照りのあと、7月になってやっと梅雨にはいったのか、よく雨がふり、雷がなります。しかし、間もなく、青い空に雲の峯が立つことでしょう。本号の表紙も、涼を呼ぼうと、こんな色にしてみました。

図書館大閲覧室にもおくれげながら冷房はいりしましたが、何しろ建物の方が戦中派なので、窓枠などが20年の風雪に痛み、折角の冷気をのがさなければよいかと祈る次第。学内・外でたかまる図書の相互利用（他学部の人が、他学部の図書を使うこと）について、京大内部の実情を調べましたので、この一覧表について、あるいは相互利用をやってみられてお気づきの事がありましたらカウンターまでおしらせ下さい。

いよいよ夏休みです。海べで松の梢をすぎる風の音を聞きながら、また山小屋の窓辺で夕日をあびてなど、どうぞ読書をお楽しみ下さい。